

# 星陵矯正研究会 オープンセミナーのご案内

これまでの矯正歯科治療の発展はマルチブラケット・システムによってもたらされてきました。しかし、近代の消費者至上主義の流れの中で、できるだけ「目立たない」「取り外しができる」「痛みが少ない」治療法が求められてきました。その可能性を実現しつつあるのがインビザライン・システムによるアライナー矯正です。今回の星陵矯正オープンセミナーではアライナー矯正の第一人者で世界中で講演をされている尾島賢治先生をお招きして、インビザライン・システムの基礎から最新線までご講演いただくことになりました。是非ご参加下さい。

星陵矯正研究会 会長 吉田直人

## 『インビザライン矯正の可能性と 新デジタル矯正時代に取り残されないために』

尾島 賢治先生

(医療法人 スマイルイノベーション矯正歯科 理事長)



### 【略歴】

- ・昭和大学歯学部卒、昭和大学歯科附属病院 矯正歯科入局
- ・同病院 矯正歯科退局、都内歯科医院において矯正治療担当
- ・本郷さくら矯正歯科、スマイルイノベーション矯正歯科を開設  
(いずれもインビザライン矯正専門クリニック、これまで1800症例を経験)
- ・トリノ大学矯正歯科 (イタリア) Adjunct Professor.
- ・日本アライナー矯正歯科研究会 会長
- ・DSD/Aligner 社 Key Opinion Leader
- ・OrthoPulse (Biolux 社) Key Opinion Leader.

【抄録】近年、デジタル矯正治療であるインビザライン矯正に関わる論文や発表を目にする機会が増加しています。従来型のワイヤー矯正とインビザライン矯正との違いは、単に「目立たない」あるいは「取り外しができる」と言うことだけではありません。それは、患者個人の歯列に合わせたフルオーダー式の咬合面被覆型装置であり、デジタル・プランニングによる0.25mmという高精度の歯の移動が可能な矯正装置であり、現在、この装置によって全世界で550万人もの治療が行われています。今回は当院で行っている実際の臨床例（軽度の叢生症例から重度の顎変形症まで）を供覧するとともに、DSD (Digital Smile Design) を組み入れた最新のインビザライン矯正についても触れます。

【インビザラインに興味をお持ちの一般歯科医の先生方へ】

1. 一般歯科医向けのインビザライン矯正・ガイドラインがあります。
2. 矯正歯科医との連携が必要です（治療に行き詰まった場合に備えて）。
4. 基本的に診断は従来法と変わりません。
5. インビザライン矯正においては、診断に基づいてクリンチェック・ソフトウェアを用いて治療計画を立てます。
6. インビザライン矯正導入に必要な7つの要件があります。

日 時：2019（平成31）年2月17日（日）

午前9時30分～12時30分

会 場：宮城県歯科医師会会館 1F 視聴覚室 [www.miyashi.or.jp](http://www.miyashi.or.jp)

住 所：仙台市青葉区国分町1-5-1 (022-222-5960)

聴講料：5,000円（当日、会場でお支払い下さい。）

### ご参加申込方法

以下いずれかの方法にてお申込下さい。

- ① E-mail ([info@seiryu-kyousei.com](mailto:info@seiryu-kyousei.com)) 下記事項をご明記下さい。
  1. 「星陵矯正研究会 オープンセミナー参加希望」とご明記
  2. ご参加希望される方のご氏名、勤務先（領収書宛先）をお知らせ下さい。

- ② Fax. (022-272-8485)

下記にご記入いただき、本状を Fax. ご送信下さい。

ご氏名	
勤務先	(領収書宛先)
Fax. 番号	